

サルバドル日伯文化協会40周年 梅田大使挨拶
14日19:00（於：ブラジル銀行アスレチック協会）

ロベルト水島サルバドル日伯文化協会会長、ジョアン・カルロス・バイア州知事代理、オデシル名誉総領事、ミルトン前名誉総領事、多原敏弘バイア日伯文化協会連合会会長、歴代会長の皆様、並びに御出席の皆様。

サルバドル日伯文化協会40周年に関し、心よりお祝い申し上げますと共に式典に招待いただき感謝申し上げます。

サルバドル日伯文化協会は、1975年に設立されたと伺っております。歴代会長のリーダーシップの下、折り紙、書道、生け花及び和太鼓等の様々な日本文化普及活動を行われました。サルバドル日本祭りは、昨年は2日間で約4万人もの市民が家族を連れて参加するサルバドルを代表する催しのひとつになっています。このことは、正に皆様の尽力の賜物です。またサルバドル日伯文化協会は、創設から今日までの40年間にわたり日本文化継承・普及、ブラジル社会発展への貢献、及び日伯関係強化に御尽力いただいております、心より感謝申し上げます。

本年は日ブラジル外交関係樹立120周年の節目を迎え、当地サルバドルをはじめ、ブラジル全土で500以上の行事が開催されます。また、今年には日本からの皇族の訪伯、ルセーフ大統領の訪日等、ハイレベルでの人的交流も期待されています。皆様の御協力を得て、この機会に日伯関係の一層の強化に取り組む所存でございますので、引き続きご支援お願い申し上げます。

最後になりますが、サルバドル日伯文化協会40周年にあたり改めてお祝い申し上げますと共に、同協会のさらなる発展を祈念しまして私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。